

評価 4:そう思う 3:どちらかといえばそう思う 2:あまり思わない 1:そう思わない

教師用(

NO	担当部署	目指す学校像	評価項目	具体的な取り組み	教師用(
					4	3	2	1
1	生指	安心・安全な学校	生徒指導・防災	年度当初と年度末に災害発生時等に備えて警備防災・緊急マニュアルを確認し、適切な対応を行っている。	47%	52%	1%	0%
2	総務保健		安全点検・校内整備	毎月1回、施設設備の安全点検を行い、長期休業期間を利用して整理整頓を定期的に実施している。また、常に校内安全を意識して、安全上必要な箇所には早急な対応がなされている。	30%	57%	11%	2%
3	学部		教職員の協働性	校務部や委員会等の活動を通じて、学部間で情報交換等を行い、連携し業務を遂行している。	34%	60%	6%	1%
4	情報学部		個人情報の保護	個人情報保護に高い意識を持ち、整理整頓を適切に行い、写真や名前を使用するときには、複数で点検を行っている。	32%	59%	8%	2%
5	生指		生徒指導・防災	年1回学部及び学年に分かれて、児童生徒に交通安全に関する指導と災害に関する訓練を前後期に1回、行うとともに、「命の大切さ」について考える機会を持っている。	41%	52%	5%	2%
6	生指	自他の命と人権が尊重された学校	生徒指導・防災	職員のいじめに対する意識を高めるために、情報の共有をし、必要に応じてケース会議を行っている。学期ごとに、生徒へアンケートを実施し、いじめの早期発見・対応に努めて、学期1回のいじめ対応委員会を実施している。	51%	47%	2%	0%
7	研修学部		専門性の向上	多様化する児童生徒の実態把握や支援の方法や授業づくり等について、研修部を中心に情報交換や授業研究、事例研究を学部や学年・学級ごとに実施している。	44%	53%	3%	0%
8	研修		専門性の向上	新しい情報を得たり実践的な指導力を高めたりするために、校内の講習会や研修会に参加したり、外部研修会等に参加を促進している。	34%	57%	8%	1%
9	人権教育		人権教育	児童生徒が生き生きと暮らせるよう、思いやりや助け合いの心、ルールやマナー等を育成する道徳教育(人権教育)を推進している。	31%	66%	3%	1%
10	保健学部		清潔指導・衛生教育	生活年齢に応じた性教育(清潔指導・衛生教育等)を学校生活全体を通して行っている。また、保健だより等を通して家庭への啓発を行っている。	36%	59%	5%	0%
11	教務学部	確かな成長が実感できる学校	個別の教育支援計画 個別の指導計画	児童生徒一人一人の障害の状態や保護者のニーズを把握した個別の教育支援計画を作成し、個に応じた支援や指導を行っている。	55%	44%	2%	0%
12	教務学部		個別の教育支援計画 個別の指導計画	新学習指導要領に基づいて、教科・領域ごとの学習指導計画を立て、その目標を達成するための手立てを明確にして指導・評価を行っている。	34%	61%	4%	1%
13	保健		食育の推進	学習活動全体を通して、児童生徒の食生活の向上に役立つように取り組み、給食だよりの発行を通して家庭への啓発にも取り組んでいる。	47%	53%	0%	0%
14	学部		指導方法・指導体制の工夫	学部・学年・学級で児童生徒の実態を共通理解し、多様な学習集団を編成して、組織的な学習指導(チームティーチングや個別指導)を行い授業の充実を図っている。	47%	51%	2%	0%
15	情報学部	自立と社会参加の実現を目指す学校	情報関連機器の活用	パソコンや電子黒板、タブレット等情報関連機器を、児童生徒の実態に応じた指導計画を立て、手立てを明確にし、活用している。	35%	57%	8%	0%
16	キャリア教育		キャリア教育	学部・学年に即した児童生徒の学習課題に照らし合わせて、社会的自立をめざす指導や「働くこと」への意識を向上する指導計画を教職員で共有して実施している。また、キャリア教育発達段階表に照らし合わせた支援教育の意識を高めている。	35%	64%	1%	0%
17	学部		体験的な活動	体験活動(校外学習・宿泊学習等)や修学旅行は、児童生徒の実態に即して計画を行い、個々の障害の状態に応じて支援や指導を行っている。	42%	55%	2%	1%
18	進路		進路指導	福祉施設、福祉労働行政、各関係機関と連携し、個に応じた適切な進路指導を実施し進路説明会や進路だより等を使って情報の啓発に取り組んでいる。	50%	49%	2%	0%
19	支援交流及び共同学習		交流及び共同学習	地域の小学校・中学校・高等学校との交流及び共同学習を計画し、障害の受容や理解・啓発に努めている。	38%	60%	2%	0%
20	学部	地域に関わられた信頼感ある学校	学年・学部間連携	年度当初に進級・進学後の児童生徒の情報交換を学部間・学年間で実施し、職員会議等で、児童生徒の様子についての情報の共有化を行っている。また、年1回の学部を超えての交流授業を行っている。	37%	58%	4%	1%
21	支援学部		特別支援教育の推進	一人一人の教育的ニーズに基づき、兵庫県及び本校の教育方針に則り、主体的に個々の力を引き出し、自立と社会参加できる人づくりのために、適切な指導・支援を各学部で行っている。	36%	63%	1%	1%
22	総務		特別支援教育の推進(オープンスクール)	本校の授業の様子や取り組みを公開し、本校の教育活動に対する保護者・地域住民及び関係者の理解の深化を図るために、地域での教育活動(清掃活動、販売活動、演奏会)を通して特別支援教育に対する理解啓発を推進している。	34%	64%	2%	0%
23	情報学部		家庭や地域との連携	行事ごとの活動をホームページやブログ・学年通信等で取り組みの様子を配信している。また、メール配信を使って連携を図っている。	41%	56%	2%	0%
24	支援		家庭や地域との連携	特別支援コーディネーターを中心に、この地域のセンター的機能を果たすため、教育相談、支援会議、地域支援等、校内外での支援を実施し、関係機関との情報を密にして連携を図っている。	56%	44%	0%	0%

計算上100%にならない箇所があります。

合計 131